

# 安全対策で事故予防

乳幼児の事故の多くは、もっとも安全と思われがちな家の中で起きています。子どもは、大人が思いもよらないような行動をとるものです。大人とは目線や手の届く高さが違うことを考え、日常の行動範囲の環境を子どもの目線でチェックする事が事故予防につながります。また、子どもの視力や視野は発達途中で、3歳ごろにやっと視力が1.0くらいになり、健康な大人と同じくらいの視力や視野になるのは6歳ごろといわれています。大人には十分見えるものでも、子どもの目では見えていないことがあるので、注意しましょう。

## ★窓・ベランダ★

窓の近くやベランダに踏み台になる物は置かない。窓にはしっかり鍵を掛ける。**頭が重いのでのぞきこんだ拍子に転落する危険が高いです!**



## ★ドア★

指を挟まないように注意!**蝶番側に手を入れると骨折の危険も!**子どもの手の届く範囲はガードをしたり、ドアが勢いよく閉まらないようなストッパーも有効です。



## ★お風呂★

浴槽の水は必ず抜いておく。浴室のドアも必ず閉めておく。**数cmの水でも、鼻と口がふさがれると数分で窒息の危険があります!**



## ★台所★

炊飯器やポットなど蒸気の出る物は手の届かない所へ。引き出しや開き戸には安全ロックを付ける。**やけど、包丁や調理器具でのけが、洗剤の誤飲などに要注意!**



## ★室内全般★

小さなおもちゃ、医薬品、タバコ、電池などは手の届かないところに片付ける。**誤飲は重大事故につながります!**



事故を防ぐために、子どもに対して「あれもダメ、これもダメ」と行動を過剰に抑えるのは、成長のために良いこととはいえず、親子ともに負担となるでしょう。大切なのは、命にかかわる事故や大きなけがから子どもを守ること、そして予防できることを知り、対策をとることです。安全な環境なら、子どもの行動に対する「禁止」も減るでしょう。



今は一緒に

秋はあっという間に通り過ぎ、気が付けばもう師走、クリスマスに年末年始と慌ただしい日が続きます。大人はやりたいことがいっぱいバタバタしてしまっていますが、子どもたちはそんなことお構いなし、かまってほしくて「ママ～」とまとわりついてきたりします。「忙しいからちょっと待って」などよく言うのですが「ちょっとどどのくらい? 待つって何するの?」と子どもにはうまく伝わらないこともあります。できることなら家事などの手を止めて子どもの思いに応えてあげたいのですが、そんな余裕はなくて好きなあそびを提案したり、時にはメディアのお世話になることもあったり、ママが今していることを実況中継するのもいいと言います。それでもやっぱりママと一緒にいたい時はできることをお手伝いしてもらいましょう。子どもにとってはママのそばにいられて、ママの役に立てて、ママが喜んでくれることが嬉しいのです。うまくできなくても、かえって手間はかかってでもぐずられてイライラしたり、子どもが寂しい思いをしてしまうよりはずっといいのではないのでしょうか。子どもの成長もあっという間、いつも隣にいたはずなのに気づくと離れて遊べるようになっていて、嬉しくもありちょっと寂しくもあり…。来年の今頃には、甘えてばかりの今の姿が懐かしく感じるようになっていくかもしれませんね。

M. T



# わわわ



2023. 12月号 NO. 186

郡上市子育て支援センター (はちまん児童館内)

〒501-4221 郡上市八幡町小野8-5-1

TEL (0575) 66-0209 (はちまん児童館)

時間/月~金曜日 8時30分~17時15分

~輪・和・笑~

子育て支援サイト URL <http://gujo-kosodate.net>



郡上市子育て支援サイト「わわわ」では、毎月の通信を見ることができます。また、市内のいろいろな子育て情報も発信しています。



- ・指しゃぶり・つめかみ
- ・チック・吃音(どもり)

## 子どもの気になる「くせ」



子どもの「くせ」は一過性のものが多く、ほとんどが成長に伴い自然になくなります。無理にやめさせようとせず、気長に見守る姿勢が大切です。

## 子どもに出やすい主な「くせ」

### 症状「指しゃぶり」



乳児期の指しゃぶりは生理的行動のひとつで発達の一過程と考えられています。幼児期になるとさみしさや不安を感じた時に気持ちを安定させるために指しゃぶりをすることがあります。

#### 対応のヒント

無理にやめさせようとするのは逆効果になり、余計に固執したりすることもあるので、他に興味を向けさせる、好きな遊びに誘うなどして気分転換させてあげましょう。

### 症状「つめかみ」



指しゃぶりと同様、基本的には自然になくなっていきますが、ひどくなると、深づめになるまで噛んだり指先が荒れたりすることもあります。

#### 対応のヒント

無理にやめさせようとする必要はありませんが、つめかみが続きそうなら「お口にばい菌が入っちゃうからね」と理由を伝えてやめられるように促してみましよう。また、日頃からつめを短く切っておきましょう。

### 症状「チック」



まばたき、首や頭、手足を振るなどの不自然な動作を繰り返します。多くの場合は一過性で成長と共に消えていきます。

#### 対応のヒント

大人の過干渉、子どもをせかしたりすることで精神的な緊張を感じると起こりやすくなります。思い当たることがあればそのような言動をやめ、体を動かしたり好きな遊びに集中できる環境をつくってあげましょう。

### 症状「吃音(どもり)」



「ぼ、ぼ、ぼ、ぼくね…」など、特定のことが流ちょうに発しにくくなります。ことばが増え始める2~3歳頃に多く見られます。

#### 対応のヒント

その子のことばを訂正したり、言い直しをさせたりすると、ひどくなったり自信を失ってしまったりします。その子のペースに合わせて話を聞き、落ち着いて話せるようにしてあげましょう。

まずは、子どもの様子をよく観察し気になるクセに気づいたら、子どもの興味あることに誘うことで自然にクセを減らし、それでも続く場合や子ども自身が困っている場合は、専門家に相談しましょう。